



福島県医発第 2631 号（地）

平成 25 年 2 月 8 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

（公印省略）

「治療薬ハンドブック 2013」の斡旋について

今般、株式会社じほうより、標記書籍を下記のとおり特別価格で提供する旨案内がありましたので、貴会会員に斡旋いただき、別紙 1 により一括して本会地域医療課へ平成 25 年 3 月 1 日（金）までにお申込み下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 「治療薬ハンドブック 2013」

斡旋価格 3, 9 9 0 円（税込）（定価 4, 4 1 0 円）

注意）3 月 1 日（金）以後、追加がある場合には別紙 2 により追加申込をお願いいたします。なお、追加分の締切は 3 月 15 日（金）といたします。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 山下拓郎

会長 蒲池 壽

上記書籍購入ご希望の方は、別紙にて2月25日までに当医師会事務局へお申し込みください。

小郡三井医師会宛(締切2月25日(月))

FAX73-1559

(別紙 1)

「治療薬ハンドブック2013」申込書

申込部数 _____ 冊

平成 年 月 日

医療機関名 _____

見る・読む・調べる!

臨床現場のニーズを追求した信頼ある医薬品情報集

治療薬 ハンドブック

薬剤選択と処方のポイント

Handbook of
CLINICAL
DRUG

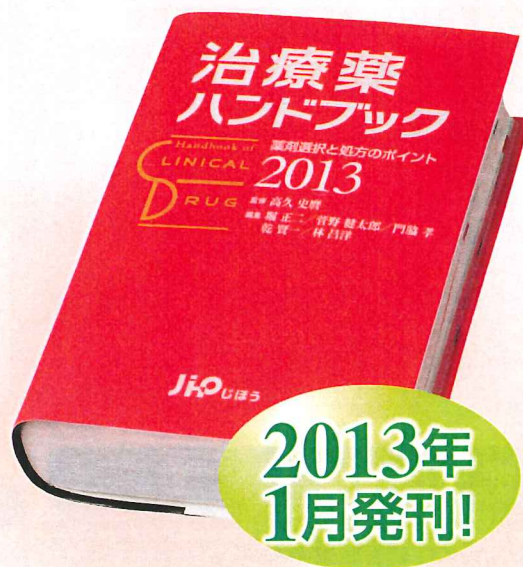
2013

- 監修 高久 史麿 (日本医学会会長)
- 編集 堀 正二 (大阪府立成人病センター総長・大阪大学 名誉教授)
菅野健太郎 (自治医科大学消化器内科学 教授)
門脇 孝 (東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科 教授)
乾 賢一 (京都薬科大学 学長・京都大学 名誉教授)
林 昌洋 (虎の門病院薬剤部長)

定価4,410円 (本体4,200円) / B6変形判 / 2色刷り / 本文約1,500頁

大好評!

各分野のエキスパートが伝授する
「処方のPoint」「薬学管理のPoint」
充実の臨床情報で日々の業務を徹底サポート!



見る

- 大きな文字とこだわりのレイアウトで見やすさを追求
- 見たい薬効分類がすぐに引けるインデックスシール付き

読む

- わかりやすい総説で薬物療法の知識を完全マスター
- 「治療薬使用のポイント」「Topics」で最新の知見がすぐにわかる

調べる

- 配合変化、適応外使用の情報からハイリスク患者への対応まで、すぐに役立つ情報を凝縮
- モニタ欄がさらに進化! 副作用回避のために必要な検査にも注目
- 一般名処方でも困らない充実した後発品欄

<取扱店>

<発売元>



株式会社 じほう
<http://www.jiho.co.jp/>

〒101-8421 東京都千代田区猿樂町1-5-15 (猿樂町SSビル)
TEL.03-3233-6333 FAX.0120-657-769
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2-1-1 (三井住友銀行高麗橋ビル)
TEL.06-6231-7061 FAX.0120-189-015

臨床に活かせる！添付文書

薬剤リスト

- 最新 DI 情報と実用的臨床情報の強力コラボレーション
- 多彩なアイコンで見やすい・調べやすい！

品名

見やすい大きな文字で調べたい
薬剤が探しやすい

薬価

代表製品の薬価がひと目でわかる
2色刷り。後発品の薬価帯も掲載

粉碎

錠剤・カプセル剤には粉碎の可否
を○×で掲載（代替剤形がないもの
に限りです）

品名, 規格単位	適応, 用法・用量	警告, 禁忌, 副作用等
ニフェジピン(nifedipine)		
アダラート (バイエル)	本態性・腎性高血圧症, 狭心症 ▶ 1回10mgを1日3回	⚠ 妊婦(妊娠20週未満)・妊娠 可能性, 心原性ショック, 急性 心筋梗塞
力 5mg ¥14.4(※5.6), 10mg ¥23.6(※5.6)		
粉碎 ×		
セバミット (MSD)	Ca拮抗薬(ジヒドロピリジン系)	
細 (1%)10mg/g ▼ ¥19.1 (※6.2~19.1)		
緊急症でカプセル内容の舌下投与は禁。比較的速やかな降圧を求める時に使用。 長時間作用型Ca拮抗薬との併用もあり		
併注: シメチジン・ジルチアゼム・アゾール系抗真菌薬・HIVプロテアーゼ阻害 薬・グレープフルーツジュース(本剤の作用↑), リファンピシン・リファブチン・フェニ トイン・カルバマゼピン(本剤の作用↓), タクロリムス(タクロリムスの血中濃度↑), シクロスポリン(歯肉肥厚があらわれやすい) 腎機能 腎不全時: A, 透析時: A		
急激な血圧下降が考えられるので妊娠高血圧症候群には使用すべきでない (モニタ) 血圧, 肝機能(AST・ALT・γ-GTP) (指導) 低血圧, 頭痛・動悸・ほてり, 歯肉肥 厚, 自己服薬中止の回避		

臨床情報欄

さらに進化した充実のラインナップ

相互作用

併用に注意すべき薬剤と発現する
相互作用を掲載

処方の Point

薬剤選択の“困った”を解消する、
医師によるアドバイス

妊婦

妊婦に対する投薬の危険度を6段階
(0~5)で評価
さらに点数の根拠を示す情報の質と
量を4段階(±~+++で表示

品名, 規格単位	適応, 用法・用量	警告, 禁忌, 副作用等
L-カルボシステイン(L-carbocysteine)		
ムコダイン (杏林)	次の疾患の去痰(上気道炎(咽頭 炎, 喉頭炎), 急性・慢性気管支炎, 気管支喘息, 気管支拡張症, 肺結 核), 慢性副鼻腔炎の排膿, (シ ロップ用)のみ) 渗出性中耳炎の 排液(小児のみ)	⚠ (重大) 皮膚粘膜眼症候群, 中 毒性表皮壊死症, 肝機能障害, 黄疸, ショック, アナフィラキ シー様症状 (半減期) 1.6時間(500mg)
細 (50%)500mg/g ¥15.4 (※6.2~6.9)		
錠 250mg ¥9.3(※5.6), 500mg ¥16.8(※7.9~8.9)		
シ (5%)50mg/mL ¥6 (※2.6)		
新シロップ用 (50%)1g ¥35.0(※13.1) (10年5月収載)	▶ 1回500mgを1日3回 (幼小児) (シ シロップ用) 1日 30mg/kgを3回に分服	
(後発品) カルプタン, カルボシステイン「タイヨー」「タカタ」「JG」, クインス ロン, サワテン, C-チステン, シスカルボン, シスダイネ, ムコチオ, ムコトロ ン, メチスタ, ルボラボン		
最も使用頻度の高い去痰薬。気道粘膜の分泌を抑制し、又、痰の粘稠度も低下さ せる		
危険度1点「情報量++~+++」 小児 シレモンライム シロップ用 甘い香り 腎機能 腎 不全時: A, 透析時: A		
(モニタ) 目の充血やまぶたの腫れ, 発疹等の過敏症		

薬学管理の Point

モニタリングや患者指導まで臨床で確
認すべき必要事項をコンパクトに網羅
副作用回避のために必要な検査にも注
目し、2013年版は(モニタ)を強化

小児

小児に対する投薬の
注意点を掲載
シロップの味も明記

腎機能

腎不全患者、透析患者
に対する投薬の目安
をA・B・Cに分類

では得られない生きた情報が満載

総説

- 薬効分類ごとに、基本知識から治療薬の分類、服薬指導まで、第一線の医師が幅広い知識を分かりやすく解説
- 治療薬に関する最新の知識が習得できます

17 利尿薬

治療薬使用のポイント

- 利尿薬は、サイアザイド系利尿薬・ループ利尿薬・カリウム(K)保持性利尿薬の3種に大別され、病態や目的によって使い分ける
- うっ血性心不全の急性期のように著明な体液貯留が存在する場合には、ループ利尿薬が第一選択となる。利尿効果が強力なため、脱水や低K血症に注意を要する。腎機能低下例でも有効である
- サイアザイド系利尿薬は、主に降圧効果を期待して使用される。低K血症の副作用に注意しながら、少量投与する。心不全でも慢性期で、腎機能正常例では体液/ナトリウム(Na)バランスを良く維持するうえで有用である
- サイアザイド系利尿薬やK保持性利尿薬は、単独での利尿効果は弱い。併用によりループ利尿薬の利尿効果を増強したり、他剤の降圧効果を増強する作用がある
- K保持性利尿薬は、単独でも緩徐な降圧利尿作用を発揮し、かつ代謝面での副作用が少ないのみならず、併用によりループ利尿薬やサイアザイド系利尿薬の低K血症を軽減できる利点がある。尿酸抑制などの心血管保護作用

各項目の冒頭には最低限知っておくべき「治療薬使用のポイント」を掲載

利尿薬は利尿および降圧効果を期待して使用される。サイアザイド系利尿薬(その類似薬を含む)・ループ利尿薬・K保持性利尿薬の3種に大別され、病態や目的によって使い分ける。サイアザイド系利尿薬は、安価で有効性の高い降圧薬として世界中で広く使われており、米国やヨーロッパでは高血圧治療の第一選択薬とされているが、わが国では併用薬として使用されることが多い。これら3種以外に、特殊な病態で使用される炭酸脱水酵素抑制薬と浸透圧利尿薬がある。利尿薬は、いずれも腎尿管でのNa再吸収を阻害し、尿中へのNa排泄を増加させることによって効果を発揮する(図)。

臨床ですぐに活用できる、適応外使用、服薬指導の内容も充実

図表を多数掲載。疾患の病態把握や診断基準、薬物治療の理解を助けます

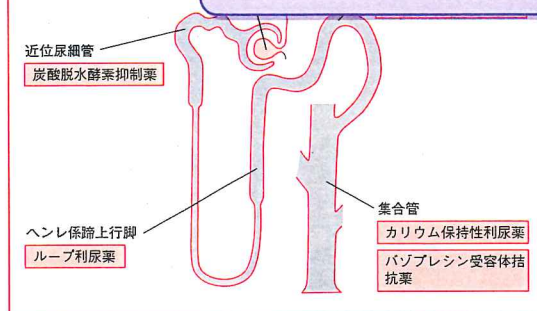


図 腎尿管と各利尿薬の作用点

治療薬の種類

利尿薬の分類・特徴・薬理作用などを以下に述べる(表)。

1. サイアザイド系利尿薬およびその類似薬

1日1回の服薬で緩徐かつ安定した降圧効果を発揮し、レニン-アンジオテンシン(RA)系抑制薬(ACE阻害薬とアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬)やカルシウム(Ca)拮抗薬など、他の降圧薬との併用薬として使用されることが多い。アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬とサイアザイドとの合剤も発売されている。代謝面への悪影響(低K血症・低マグネシウム(Mg)血症・耐糖能低下・高尿酸血症・脂質異常症)が懸念されるが、これらの副作用は用量依存性に増強するため、低用量に留めておけばほとんど問題ない。低K血症が耐糖能低下の主な原因とされているため、低K血症を軽減できることが特に重要である。構造イド用部

適応外の使用

- ・サイアザイド系利尿薬は、尿崩症(特に腎性尿崩症)の治療薬として使われる
- ・新しい抗アルドステロン薬である選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬エプレレノンとは、スピロラクトンに比べて受容体選択性が高いため、女性性乳房などの副作用が少ない。海外の研究では、心不全にも有用とされている

服薬指導

- ・過剰な降圧や脱水により、めまい・立ちくらみ、倦怠感を自覚することがありますので、異常があれば担当医に報告してください
- ・塩分摂取量が多すぎても利尿/降圧効果は発揮されるのが通常ですが、血清カリウムが下がりがやすくなります。カリウムが低下する傾向にあれば、食塩摂取量を制限することを心がけてください
- ・睡眠障害の原因となるため、夜間服薬を避けてください。ただし、夜間服薬を希望する場合には、医師と相談してください

各種ガイドラインや注目の臨床試験の動向をはじめ、新薬の特徴など、示唆に富む最新的话题を提供

Topics

- ・アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬は、各メーカーから相次いで発売された。降圧効果の相乗作用のみならず、電解質・糖代謝に対する副作用を相殺できる利点がある。また、処方箋を単純化するため、アドヒアランス改善に有用である。製剤により成分含有量が異なるため注意する
- ・選択的バゾプレシンV₂受容体拮抗薬であるトルバプタンは、尿中ナトリウム排出に影響を与えずに水利尿効果を発揮するため、心不全治療に対する有用性が期待されている。ループ利尿薬などの他の利尿薬で効果不十分な場合に併用して使用する。脱水や高ナトリウム血症を来しうるため、投与開始や再開は入院で行う必要がある
- ・肝硬変による腹水貯蓄にも有効性が報告されている(効能追加申請中)

(山本 浩司、木村 玄次郎)

※見本のため実物とは異なる場合もございます

毎年、多くの読者から

選んでよかった! の声が寄せられています

- 持ちやすく簡潔にまとめられていて、回診等に同行する際にとても便利です(薬剤師)
- 薬剤名が読みやすく、薬学管理のPointや処方Pointが参考になります(看護師)
- 解説がわかりやすく助かっています。文字が大きいところも好きです(薬剤師)
- 類書をいろいろ使いましたが、内容が充実していて本書が一番よいです(勤務医)
- スッキリしたページで見やすく使いやすい1冊です(薬剤師)
- とても使いやすく、実習生の間でも人気があります(学生)

(2012年版読者ハガキより抜粋)